

フィリピンの伝統医療ヒロット(ウエルネス・マツサージ)は、日本でも徐々に紹介される機会が多くなってきたが、また未知なところも少なくない。現在、ルソン地方カビテ州イムス町の長期滞在邦人向けリゾートのスパで、スタッフの教育担当をしながら、ヒロットの調査を続けている山端香代子さんにその実状を寄稿してもらった。

日本人施術者が見た 比伝統医療ヒロット

(上)

心身の健康を目的に

日本ではマツサージと言え、指圧やスウェーデン式、タイ古式などがよく知られている。ヒロットは、単なるマツサージの域を超えてウエルネス(心身の健康)であるところに特徴がある。

フィリピン古来の伝統医療を総じてヒロットという。また、ヒロットを行う施術師もヒロットと呼ばれている。もともとは経済的に医者にかかれない人や、医者に通うのが困難な地域に住む人のための民間医療だった。

ヒロットにはさまざまな種類があるが、代表的なのはココナツ油を使ったマツサージ(マンヒロット)で、けがや病気の治療目的に使われて来た。薬草の専門家(ヘルボラリオ)や、お産の専門家(ナグババアーナク)も代表的なヒロットで、現在も活躍している。また、特殊な治療能力を持つ信仰治療師(アルブラリオ)も数多くおり、現代医学では回復の見込みがない患者や、医者にかかるより効果があると信じる人達が絶えることなく彼らの元を訪れている。

ヒロットの技術は、家系ごとに口承で受け継がれてきた。その歴史を記した書物がないことや、信仰治療の信ぴょう性を疑われ、世の中になかなか広まらずにきたが、近年ようやくその未知なる効果が注目されるようになった。

純粋で心引かれる人柄が多いヒロットの施術師たち。今回は、そのうちの2人を紹介させていただく。

▽祖母から手ほどき カビテ州ジェネラルトリ

父スに住むフォルトゥナタ・ギノオ通称プリンさん(48)は、ダバオ市で生まれ育った。彼女は3才で父を、6才で母を亡くし、祖父母や親戚に育てられた。逆子で生まれた彼女はヒロットの素質があると信じられ、祖母からヒロットの手ほどきを受けた。子供の頃、「よく海辺で神と話をし、自分はヒロットで人々を助けるのだ」と悟ったという。ヒロットの技術を祖母から学び、子供時代から施術を始めたプリンさん。18才でマニラに来てからは、仕事をしながらヒロットとして活躍してきた。自身のヒロットが信頼できるものであることを証明するために、政府認定の学校に通った。技術教育技能開発庁(TESDA)と厚生省(DOH)のヒロットコースで国家資格を取得。他にも薬草専門家の資格も持っている。彼女の施術は、体にココナツ油を塗り、神経に沿って施術するのが特徴だ。体内に流れる

エネルギーのつまりを取り除いて流れを良くし、体の不調を改善させるのだ。施術を受けると、初めは、うめき声を上げるほど痛かったのが、繰り返し神経の系統をマツサージされると痛くなくなる。これが神経のつまりが流れた証だといふ。患者は腰痛や、腕が拳がらないなどの整形外科的疾患から高血圧、心臓病、糖尿病までさまざま。マニラ市内に出向くことも多く、中にはミンダナオ地方からわざわざ彼女を呼び寄せる人もいる。生まれ持った素質に加え、努力でヒロットの国家資格を取得した正統派のヒロットと言えらるだろう。

▽ヒロットの家系
昨年11月にルソン地方南カマリネス州にヒロット調査に出掛けた際に出会ったのは、同州ナガ市のベドロ・ドウランテさん(74)だ。同市周辺地域は、数多くのヒロットが今でも民間医として活躍しているところのひとつである。ヒロットの家系に生まれたベドロさんも、子供の頃から技術を教え込まれた。さらに独学で生み出した技術を合わせ、34才でヒロットを職業とするようになった。現在は息子や親族と共にファミリービジネスとしており、営業許可も取得した。許可を得て税金を支払うこと



比の伝統医療ヒロットを施術するギノオさん

しかし私はこの「内からあふれる力」こそが「神の力」、「ヒーリングパワー」のように思えてならない。ベドロさんは仕事の業績を称えられ、2010年のピコール地域を代表する零細事業経営者として表彰されている。その表彰者達の展示会がSMメガモールで行われた際に、再会することができた。息子と親族の女性と共にヒロットを行うベドロさんのブースには、大勢の人たちが順番を待っていた。今回紹介した2人は典型的なマンヒロットである。今回は特殊な能力を持つ信仰ヒロット(アルブラリオやオラジョン)を紹介したい。(続く)

で、周りからの信頼を得るためだと語る。ベドロさんの手法はまず脈拍を計り、触診で病気の原因を探る。それから体にココナツ油を塗り、マツサージを行う。私も施術を受けたが、74才とは思えない力強さに驚いた。そして彼の内からあふれる生のオーラを感じ、何とも言えない平和な気持ちにさせられた。ベドロさんは「自分は神と出会ったこともなければ、ヒーリングパワー(治療能力)もない。治療は心の内からあふれる力を使って行う」と語る。

山端香代子(やまはたかよこ) 1971年、北海道函館市生まれ。2007年に日本人経営のスパの管理担当として来比。フィリピン伝統医療ヒロットと出会う。現在、長期滞在邦人対象のマキソンリゾート内のスパでスタッフの教育を担当しながらヒロットの調査活動を行っている。2010年に比労働雇用省技術教育技能開発庁(TESDA)が発行するヒロット(ウエルネス・マツサージ)国家資格を取得。

年を取ったせい、年の節目には「論語(孔子)」「老・荘子」などの「漢文」を読むことが増えている。

戦後、学校教育から「修身」と「漢文」という科目が廃止された影響の大きさを今にして痛感する。「修身」は「道徳」となっていくらかが復活してはいる。だが「漢文」は江戸時代300年の間に育まれた「儒教」

物に恩恵を与えながら相手に逆らわず、人の嫌がる低いところへと流れ道歩いているように思えてならなくてゆく。水の第1は「柔軟性」であり、アメリカもベトナムに続いてる。丸い器では円く、四角い器では「イラク」「アフガン」と要らぬ喧嘩相手に逆らわず四角形になる。今のや手出しが過ぎたようだ。更に、有能なスタッフを育てるには「怒らず」「争わず」「下手にでる」と心得る。

物に恩恵を与えながら相手に逆らわず、人の嫌がる低いところへと流れ道歩いているように思えてならなくてゆく。水の第1は「柔軟性」であり、アメリカもベトナムに続いてる。丸い器では円く、四角い器では「イラク」「アフガン」と要らぬ喧嘩相手に逆らわず四角形になる。今のや手出しが過ぎたようだ。更に、有能なスタッフを育てるには「怒らず」「争わず」「下手にでる」と心得る。

理想のトップとは

「老子」は理想のトップを①部下からその存在すら意識されない②部下から敬愛される③部下から恐れられる④部下からバカにされる——という四つに分けている。最高のレベルとは「太上、下知有之」(最高レ

学ぶべき格言が非常に多い。

「老子」は理想のトップを①部下からその存在すら意識されない②部下から敬愛される③部下から恐れられる④部下からバカにされる——という四つに分けている。最高のレベルとは「太上、下知有之」(最高レ

ここ数年、マニラで「暖かい」

育普及・向上事業を担当しているが、その彼が昨年末

育普及・向上事業を担当しているが、その彼が昨年末

育普及・向上事業を担当しているが、その彼が昨年末

育普及・向上事業を担当しているが、その彼が昨年末

育普及・向上事業を担当しているが、その彼が昨年末

育普及・向上事業を担当しているが、その彼が昨年末

育普及・向上事業を担当しているが、その彼が昨年末

日本人施術者が見た 比伝統医療ヒロット

(中)

信仰治療師に行列

今回は、アルブラリオと
呼ばれる信仰治療師を紹介
する。特殊な治療能力を持
ち、時に患者の体に触れる
ことなく診療をすることか
ら、その信びよう性が疑わ
れることも多い。フィリピ
ン伝統医療の普及が遅れて
いる理由の一つがこの信仰
治療だが、奇跡の結果をも
たらすことがあるのも事実
だ。

毎週金曜日になると、ル
ソン地方カピテ州イムス町
のデイビッド・ランカイさ
ん(45)の家の前に朝5時前
から行列が出来る。治療の
受付が6時から始まるから
だ。治療は8時から始まり、

夜8時頃まで続く。デイビ
ッドさんの治療方法は独特
だ。患者はポトルに入った
300ミリリットル程のコー
コナツオイルを購入する。
デイビッドさんはそのオイ
ルの中に自身の「第3の目
を通して患者の体内の様子
を見ることが出来るのだ。
病気の原因を見つけると患
部にオイルを塗り、患者の
頭に手をかざし息を吹きか
ける。最後に祈祷(きとう)
の言葉を紙に書いて渡し、
寝る時はオイルを体に塗
り、その紙を貼り付けるよ
う指示する。これが治療の
基本スタイルだ。

特殊な能力に気づいたのは
小学校6年生の時。学校帰
りに頭痛がし、家のソファ
で寝ていた。午後6時頃目
を覚ますと天井と屋根が無
く、いきなり星空が見えた
という。慌てて母親を呼ぶ
と、母親は「屋根はある。
お前は第3の目で空を見て
いるのだから」と告げたとい
う。実は母方の父も信仰
治療師で、デイビッドさん
も同じ道を歩むと予言して
いたそうだ。その後、デイビ
ッドさんは能力を生かし、
紛失物探しや事件解決に協
力するようになった。17歳
の時、噂(うわさ)を聞いた
マルコス大統領に当時

に呼ばれて山下財宝を探し
出すように命じられ、同地
方又エバエシハ州カバナツ
アン市にある財宝を言い当
てた。その能力は評判を呼
び、病気治療や除霊、紛失
物探し、事件解決とあらゆる
目的の人たちが彼のもと
を訪れるようになった。著
名人や有力者も少なくない。
薬草の専門家でもあり、
治療に薬草を取り入れている。
症状によっては医者にか
かるように勧めることも
よくある。自分の能力だけ
を誇示せず、西洋医学と併
せ最良の治療を施そうとし
ているのだ。

先週、彼の患者さん3人
にインタビュしてきた。同
地方バタンガス州に住むマ
ルシアナ・エスピリトウさ
ん(53)は、リウマチと関節
炎を患い、昨年7月から通
っている。一度医師の診断
を受けた後、ずっとデイビ
ッドさんの治療を受けてい
る。経済的な理由もあるが、
化学薬品の服用に抵抗があ
るからだ。半年通った現在
は痛みがなくなり、立って
歩くことができるようになった。
デイビッドさんを心
から信頼できる信仰治療師
だと語る。

カピテ州在任のアナベ
ル・ルカヒンさん(37)は卵
巣が腫れる病気で昨年8月
から通っている。検査費用
がないのが大きな理由だ
が、デイビッドさんの力で
良くなることを確信している。
週1回の治療と薬草の服用
で体調は徐々に良くなって
いると語る。

また、同じカピテ州在任
のベティ・カンボさん(39)
は、初めて治療に訪れた。
妹さんによれば、昨年末か
ら体調を崩し直腸がんと診
断された。手術や処置に対
応できないと別の病院を紹
介されたが、それでも診療
拒否されてしまった。行き



治療中の信仰治療師デイビッドさん(左)

場をなくし、わらにもすが
る思いでデイビッドさんの
もとを訪れた。排便ができ
ず腹部が大きく腫れ上がっ
ている。具合が悪く会話を
ままならなかった。神に不
可能はないと語る妹さんと
共に毎週通う予定だ。
この日は他に木に宿る霊
に取りつかれた女性の除霊
も行われていた。
こうして人々を病気や災
いから救っているデイビッ
ドさん。実は信仰治療師の
仕事は好きではないと笑い
ながら語る。1日に100
人以上の治療を行うのは身
体的にダメージが大きい。
これまでに何度も他の職に

就こうとしたがどうしても
戻されてしまうそうだ。例
えば一度、海外での仕事を
得て飛行機に搭乗した際
にも、離陸前に出国審査ブ
ースから呼び出しが掛かっ
てると告げられた。しかし
行ってみると呼び出してい
ないと言われ、その間に飛
行機は出発してしまっ
た。また、ある時は離陸直前
の大雨で欠航になってしま
ったという。自分を頼って
くる人たちがむげにできな
い。これが神から与えられ
た使命なのだ。覚悟を決
め、週1回の治療を行うこ
とにした。本日は警察官に
なりたかったデイビッドさ
んは、現在、時々、国家捜
査局の捜査を手伝っている。
これが自分の使命を受け
入れたデイビッドさんへ
の神からの贈り物なのかも
知れない。

施術中の彼はただ一途に
目の前の患者に集中してい
る。その姿に、現代医学で
は感じる事が少なくなっ
た人の愛を感じるのだ。
(山端香代子、続く)

どうも前回といい、今回といい
「小生意気な老人の説教論議」に似
て気恥ずかしい。受け売りの話が多
くなって汗顔の至りだが、ご容赦願
いたい。私も今年2月には84歳。卵
(つ)年の年男だが、このコラム連
載も300回を越え、体力的にポツ
ポツ毎週1回はこなせない日が近づ
いた感じがする。

家を売り飛ばして

◆「感謝の心」
野球の名監督・野村克也氏が書か
れた近刊「野村の実践《論語》」に
こういう言葉があった。「夏が来る
と冬がいい」「太ると痩せたい」「忙
しいと閑になりたい。閑になると忙
しい方がよい」「金を持って古びた
女房が邪魔になる。隣を見ては愚痴
ばかり」「女が出来たら親さえも邪
魔になる」。

野球の名監督・野村克也氏が書か
れた近刊「野村の実践《論語》」に
いう。二千数百年の昔、55歳を過ぎてか
ら15年もの歳月、諸国を彷徨った。
そして「徳」「仁」「恕」のキーワー
ドで理想の社会や人格を説く思想体
系に行き着き、これを弟子たちに伝
えた。そして日本語教育レベルも高
く評価されてきている。

野球の名監督・野村克也氏が書か
れた近刊「野村の実践《論語》」に
いう。二千数百年の昔、55歳を過ぎてか
ら15年もの歳月、諸国を彷徨った。
そして「徳」「仁」「恕」のキーワー
ドで理想の社会や人格を説く思想体
系に行き着き、これを弟子たちに伝
えた。そして日本語教育レベルも高
く評価されてきている。

野球の名監督・野村克也氏が書か
れた近刊「野村の実践《論語》」に
いう。二千数百年の昔、55歳を過ぎてか
ら15年もの歳月、諸国を彷徨った。
そして「徳」「仁」「恕」のキーワー
ドで理想の社会や人格を説く思想体
系に行き着き、これを弟子たちに伝
えた。そして日本語教育レベルも高
く評価されてきている。

野球の名監督・野村克也氏が書か
れた近刊「野村の実践《論語》」に
いう。二千数百年の昔、55歳を過ぎてか
ら15年もの歳月、諸国を彷徨った。
そして「徳」「仁」「恕」のキーワー
ドで理想の社会や人格を説く思想体
系に行き着き、これを弟子たちに伝
えた。そして日本語教育レベルも高
く評価されてきている。

野球の名監督・野村克也氏が書か
れた近刊「野村の実践《論語》」に
いう。二千数百年の昔、55歳を過ぎてか
ら15年もの歳月、諸国を彷徨った。
そして「徳」「仁」「恕」のキーワー
ドで理想の社会や人格を説く思想体
系に行き着き、これを弟子たちに伝
えた。そして日本語教育レベルも高
く評価されてきている。

野球の名監督・野村克也氏が書か
れた近刊「野村の実践《論語》」に
いう。二千数百年の昔、55歳を過ぎてか
ら15年もの歳月、諸国を彷徨った。
そして「徳」「仁」「恕」のキーワー
ドで理想の社会や人格を説く思想体
系に行き着き、これを弟子たちに伝
えた。そして日本語教育レベルも高
く評価されてきている。

日本人施術者が見た 比伝統医療ヒロット 普及の鍵は基準づくり

(下)



山端香代子さん

最近ヒロットが注目され始めた大きな理由は、ヒロットが自然医学と認められているから。西洋医学で用いられる化学薬品は効果もあるが副作用も大きい。ヒロットで処方されるのは薬草をはじめ全て自然の物である。また、施術に使うココナツオイルはアロマセラピー(芳香効果、花や香草の香りで心身の健康をはかる)効果があることがわかっている。昔から自然に受け継がれてきた薬草やココナツオイルが自然医学やアロマセラピーの原理にかなっていたのである。

それでは今後ヒロットを普及させるにはどうしたらよいか。この点についてここ数年で世界中に広まったタイ古式マッサージと比較してみたい。昨年12月にタイに行き、タイ古式マッサージの最高機関、ワットポー・マツサイジスクールを訪れた。なぜ急速に普及したのか、どのような技術だったか、どのような技術を受けたか、オイルを使うので比較しきれないが、ヒロットがタイ古式同様、またはそれ以上のウェルネス心身の健康であること確信できた。

タイ古式マッサージも、もともとは除霊や薬草学を組み込んだ総合医学だが、マツサイジのみが注目され広がった。この点はともヒロットと似ている。ワットポー・マツサイジスクールでは卒業生に技能を認め、証明書が発行しており、国内外から生徒を受け入れている。タイ古式マッサージ

の最高機関の地位の確立と証明書の発行。これが信頼と安心を生み、タイ古式マッサージを一気に広めた要因だと感じた。技術については、全体に近い印象を受けた。オイルを使うので比較しきれないが、ヒロットがタイ古式同様、またはそれ以上のウェルネス心身の健康であること確信できた。

それではどのようにヒロットを広めていくか、まずは体制の確立が必要だ。フイリピン政府が確立しても良いし、ワットポーのような民間機関でも良い。大切な民間機関でも良い。大切なのは信頼でき、取得後は公に認められる証書が得られる保証を与えることだ。う、実は比政府も最近、国

をあげてヒロットプロジェクトに取り組みようとした。しかし、事情により現実化していない。

もう一つ必要なのは基本を盛り込んだ教科書だ。前に述べたが、ヒロットは歴史や技術を記載した書物が残されていない。技術も各地域によってまちまちだ。それが特色でもあるのだが、世界に広めるにはある程度統一された標準が必要になる。私もヒロットを知ることになった。2009年、日本の城山整体専門学校が主催したサンパレス州スピックのジョージアデウェイ大学で開催されたヒロット研修に参加した。技術教育技能開発局(TESDA)の先生による講義と実技は

それまで出会ったヒロットたちと共通点も多かったが、公的機関の講義ということで信頼できた。そして研修の最終日には、ヒロットの父と呼ばれるジェイミー・ガルベス・タン氏通称ドクター・タンとの会合が行われた。ドクター・タンは厚生長官を務めた人物で、現在はEICセラピーセンターの理事長であり、ユニセフや世界保健機構のコンサルタントとして年代後半から30年にわたってヒロットの調査をされ、06年には「ヒロット―フイリピン伝統マッサージ」という本を出版された。

厚生省主催のヒロットスクールの講師も長く務められ、現在は個人でもヒロット養成学校を運営している。スピークでの講習とドクター・タンの著書の内容は、ヒロットの概念と信念については一致していた。ヒロットの中心概念を「ホット&コールド・シンδροーム」、つまり、体内

の熱と冷のバランスを保つことが健康を保つという概念だ。

もう一つの信念として、自分と関わる全ての人が、自分の世界への「転換」を模索しているように思えてならない。氏については、後日もっと書いてみたい。彼が、ダバオに戻ったのは、2カ月程のことだ。彼のチャレンジに、今月9日から、床山の実娘、床千と

らん る 花 の 旗

-2-

今の居宅に移って20年弱になる。ごく普通の庶民が隣人である市井の一面である。

なんとなく「生」のミランダナオに住んでいる気分を味わえる。ここに私は、水トカゲ2匹、イグアナ2匹、

ンダナオ日本人商工会議所の担当として、マルコポーロ・ホテルでお会いした。ひまわりの油からパイオ燃料を採取するという壮大な話を筑波大学の某教授が開いた逆説的だが、チャレンジの目的はつきりしている。結果に終わる。自らの「存

ねたい」とタダをこねた。後醍醐天皇を奉じた南朝方の末裔にふさわしい果敢な頑固さに、あきれた。医師の付き添いで帰国して日本で開頭手術を受けた。彼は、ダバオに戻ったのは、2カ月程のことだ。彼のチャレンジに、今月9日から、床山の実娘、床千と

紹介させて頂いたが、私にとつてヒロットの一番の魅力は「施術者の一心な心と愛」だ。人の心を動かすのは何と言っても心だからだ。読者の皆様にも是非フイリピン伝統医療ヒロットを体感して頂きたい。私も微力ながら今年日本に向けフイリピン伝統医療を積極的に発信するつもりだ。

(山端香代子 終わり)

購入者情報を登録へ

SIMカードで法案提出

同議員は、SIMカード販売が無規制で行われているため、強盗や詐欺、誘拐事件の身代金要求など、多数の犯罪に使用されていると現状を指摘、規制の必要性を強調した。

同法案では、カード購入者が購入時に政府が発行した身分証明書の提示を義務付け、販売者はそれをカードの通信会社に登録しなければならぬ。個人情報登録が確認されるまで、購入したカードは携帯電話に挿入して使用できないように仕様変更される。

医療目的の比較光で新ビザ制度を検討中
入国管理局
入国管理局はこのほど、医療目的で比を訪れる外国人観光客の滞在を認める新たなビザ制度を検討していると明らかにした。

アジア域内では近年、特にタイやシンガポール、台湾などで医療ツーリズムと観光をセットにした「メディカルツーリズム」を推進する動きが出てきている。このため比でも同ツーリズムに特化したビザ制度を導入し、市場での競争力強化と良質な医療サービスをアピールしたいという。

同局によると、同ビザ取得により、外国人登録証(ARC)を取得しなくても半年間の滞在を認める方向で調整している。

ただし、ビザ申請時に保証金を納めなければならない。金額は未定。

レデスマ局長は「比人医師や看護師は外国人患者に良質の医療サービスとホスピタリティを提供できると強調し、同ツーリズム産業の発展に期待を表明した。